



コンパス

(公社) 愛知県宅地建物取引業協会東三河支部、豊橋市花田町字石塚42-1 豊橋商工会議所6階
TEL(0532)55-2669、FAX(0532)53-3595



◎支部企画研修会開催 11月26日(月)

場所：ライフポートとよはし「コンサートホール」

受付：午後0時30分～午後1時

時間：午後1時～午後4時終了予定

◎事務局臨時休業 11月30日(金)

きりめき帳 東愛知新聞 平成30年9月19日より

東三河の下落幅が縮小

住宅地 商業地 県は6年連続の上昇

地価調査結果

県は18日、7月1日を基準日とした地価調査の結果を発表した。昨年7月以降の1年間の愛知県の地価は、住宅地、商業地ともに6年連続の上昇。東三河は、住宅地、商業地とも下落幅が縮小した。

愛知県の平均変動率は、住宅地が0.6%、商業地は3.1%のともに上昇。上昇幅も拡大した。
東三河では、住宅地がマイナス1.1%（昨年マイナス1.4%）、商業地はマイナス0.6%（昨年マイナス0.9%）で、いずれも下落幅が縮小した。
下落の拡大が続いていた東三河の住宅地だが、下落が昨年に比べ6地点減の36地点。上昇は1地点減の1地点に縮小し、

横ばいが6地点増の25地点となった。
豊橋市はマイナス0.2%、豊川市がマイナス1.2%、蒲郡市がマイナス1.2%、新城市がマイナス3.2%、田原市はマイナス2.8%で、下落幅はいずれも昨年より縮小した。
県内で最も下落率が大きかったのは、東栄町本郷西万場でマイナス6.6%だった。
一方、東三河の商業地も下落幅が縮小し、上昇が3地点増の5地点、横

ばいが3地点減の7地点、下落が1地点増の14地点だった。
豊橋市は、1.1%の上昇で昨年より1.1%拡大。豊川市はマイナス1.5%で、下落が昨年より0.1%拡大がり、蒲郡市はマイナス1.3%で0.3%縮小。新城市もマイナス4.8%で0.5%縮小した。田原市はマイナス2.8%で、下落が2.8%拡大した。
県内の下位5地点は、田原市古田町エケノ前でマイナス5.6%など東三河と知多両地域が占めた。
また、県内の住宅地は、名古屋市の1.6%、尾張が0.8%、西三河が1.4%の上昇となっており、依然として地域間の格差が縮まらない。商

業地も名古屋市の6.5%、尾張が0.9%、西三河が1.4%の上昇だった。
地価調査は毎年実施され、国土交通省の地価公示と共に土地取引の指標となっている。調査結果は「ネットあいち」に掲載されている。
東三河5市の平均地価（1平方メートルあたり）は次の通り（住宅地、商業地の順。カッコ内は変動率）。
豊橋市 7万7500円（マイナス0.2%）
18万4000円（1.1%）
▽豊川市 6万8900円（マイナス1.2%）
9万9000円（マイナス1.5%）
▽蒲郡市 6万8000円（マイナス1.2%）
8万9200円（マイナス1.3%）
▽新城市 2万9000円（マイナス3.2%）
5万4200円（マイナス4.8%）
▽田原市 2万7100円（マイナス2.8%）
6万5300円（マイナス2.8%）